

2020
学園案内

KOREA INTERNATIONAL SCHOOL



コリア国際コース

国際バカロレア(IB)コース

日本留学コース



코리아국제중고등학교
コリア国際学園中等部高等部

建学の精神

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園（KIS）は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園（KIS）は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

教育理念

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。



冒險のように 人生を切り開いていける力を!

コリア国際学園中等部高等部
校長 金正泰



「越境人」の育成を建学の精神にかけたコリア国際学園が設立されたのは2008年、21世紀が始まってまだ間もない頃です。20世紀の激動の歴史の中で国境を超えて生きざるを得なかった在日コリアンの人生の教訓から、「3言語」と「世界で活躍できる力」を育成することを目標としたコリア国際学園が設立されました。

コリア国際学園では「3言語」や「世界で活躍できる力」と言う言葉を少し不自然に感じるようになってきました。なぜなら学園内ではコリア語、英語、中国語、日本語が自然に飛び交い、生徒たちは韓国、カナダなどを訪れ、そこでできた友だちとコリア語、英語で話します。地理的・文化的境界を訪れ、その地の歴史と文化に触れ、共生について体験的に考えます。卒業生たちは日本、韓国、アメリカ、イギリス、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピンなど世界のあちこちで活躍しています。コリア国際学園の生徒たちにとって、すでに多言語は特別なことではなく、世界は自分たちが生きていくフィールドに過ぎないのです。

学園には日本人、在日コリアン、韓国人、中国人の生徒たちがいますが国籍、民族、文化はさらに多様です。言わば小さな多文化社会がすでに出来上がっています。生徒たちはそのような環境の中で生じる様々な問題に日々向き合いながら学んでいます。そのような学園生活の中で言語力、コミュニケーション力、論理的思考力の必要性を実感し、行動することの重要性を理解するようになります。

人類の歴史は、人には与えられた状況に甘んじることなく、時には環境に適応し、時には状況を打ち破る力があることを教えてくれています。私たち大人ができるることは未来を担う子どもたちが、人が本来持っている力を發揮できる環境を作ることだと思っています。コリア国際学園は生徒たちがしっかりと学び、深く丁寧に思考し、それを実践していく環境を作ることに力を入れています。

科学技術の発展により第4次産業革命が呼ばれる中、国際情勢や経済構造はダイナミックに変化し、人々の生活にも大きな変化をもたらします。そのような社会で我が身の幸せだけでなく、人類の繁栄と正義のために生きる優しさと思いやりを持って欲しい。どのような状況であれ、冒險のように人生を切り開き、楽しめる力としなやかさを持って欲しい。

コリア国際学園はこのような教育を目指します。



学校法人 コリア国際学園 沿革

2005年	1月	故金敬得弁護士から学校設立構想の提案
2006年	3月	設立準備委員会が発足
2007年	2月	大阪のシンポジウムで建学の精神、理念を発表
	5月	大阪で設立発起人・賛同人の集い。約120名が参加
2008年	4月	第1回入学式。新入生26人が入学(中等部10人、高等部16人)
	8月	校舎竣工
	2月	第一回卒業式。9人が卒業
2011年	3月	大阪府から学校法人及び各種学校認可
	12月	高校無償化対象校となり、文科省から就学支援金の支給開始
2012年	4月	国連教育科学文化機関からユネスコスクールに認定
2013年	9月	後援会の設立総会。会長に作詞・作曲家の中村泰士氏
2014年	10月	国際バカロレアの認可を申請
2015年	1月	国際バカロレア候補校
2017年	10月	国際バカロレア認定校
2018年	4月	開校10周年

KISが目指すもの

建学の精神と教育理念を現場の教育活動に落とし込み
それを常に模索し、変化し続けています。



コリア国際学園は2008年に設立されたコリア系インターナショナルスクールです。中学校・高等学校に相当する生徒たちが通っています。中等部1年から、高等部3年まで、1学年1学級の小さな学校ですが、学校の建学の精神である「越境人」を目指し、大きな夢を抱いて学んでいます。

2020年度の在校生の国籍は日本・韓国・中国・アメリカ。日本国籍者の中にはコリアにルーツを持つ生徒もいます。また、韓国籍者も日本で生まれ育った「在日コリアン」もいれば、韓国からの留学生もいます。中国からの留学生は漢族も朝鮮族もいます。先生たちも日本人、韓国人、アメリカ人、中国人と多様です。

国籍、民族、文化、生活習慣、生まれ育った場所が違う生徒たち、複合的なアイデンティティを持つ生徒たちが混在しています。そんな、生徒たち一人ひとりを大切にしながら、多文化社会を生きていくための志と能力を育み、世界中のどこでも生きていける強さと優しさを持ったグローバル人材を目指しています。

2020年度の初めは新型コロナウィルスの感染拡大によって、世界中が大きな悲しみと不安に包まれました。コリア国際学園では「生徒・教職員の健康と安全」、「学びの継続」をスローガンに、生徒、保護者、教職員が一体となって春休み中にオンライン教育活動の体制を組み、日本・韓国・中国に住む生徒たちが、時間と空間を超えて学びあいを実践しました。

コリア国際学園の建学の精神「越境人の育成」は普遍的な教育理念であり、それを実践する教育内容や方法は時代や環境とともに常に変化します。コリア国際学園自体も、その時代の「越境人」を常に模索し、時代と社会の要請に敏感に応えていける強さと柔軟性を備えた学園を目指します。



▶ KISの価値観と教育実践の原則

多文化社会とはどのような社会なのか。
多文化社会で大切なことはなにか。

多様な文化的背景と価値観を持つ人たちが集まったKISでは、毎日が文化的葛藤と解決に向けた取り組みの連続でした。その中で私たちが感じたことは、「多文化共生はそんなに簡単ではない」ということです。KISの歴史の中で苦しみや、痛みをともなうこともありましたが、その成長の中で私たちが得たものが、個性の尊重を前提としたグローバル社会の在り方です。

それは、言葉だけのきれいごとではなく、「ルールとモラルと仕組みをつくること」でした。これが、誰一人として取り残すことのない多文化共生社会に向けたKISの取り組みです。



KIS の価値観

人(社会と自然含む)・多様性・学びの尊重

KIS の教育実践の原則

自由と責任

人が多様化し、時代が変わることで、新しい課題や、解決すべき問題が生まれます。その時に、判断基準とするものがKISの価値観「人・多様性・学びの尊重」です。そして、教育活動を実践する際の原則が「自由と責任」です。

自由の無いところで自由を尊重する心は生まれず、責任のないところで責任感は育ちません。

• KISには

人を大切にする自由はありますが、
人を傷つける自由はありません。

人と違う自由はありますが、人と違う
ことを責める自由はありません。

一生懸命学ぶ自由がありますが、
学ばない自由はありません。

これが価値観と原則の関係です。

▶ 2020年度に取り組んでいるもの

- ① 共有するルールのハードルは下げて、具体的にすること。教務規定・学校生活のしおり・進路指導規定を改定し、指導処分規定を策定しました。学びに関する規定をしっかりと見直しました。服装や頭髪などのルールは無くしました。もちろん、制服を着る自由もあります。
- ② 学校便覧、学校教育計画は日本語版、コリア語版、中国語版を作りました。みんなが共有すべきルールをしっかりと理解するためです。ルールにないことで人を責めることはできません。
- ③ 生徒・保護者・教職員・理事・教育専門家・地域住民で構成される教育評価諮問会議を設けました。年に2回、学校教育活動を振り返り、みんなが共有するルールを見直します。



KISの教育カリキュラム

「境界をまたぐ越境人」の育成に向けて、KIS独自の教育課程と国際バカロレア(IB)教育を融合した先進的な中高一貫教育を実施します。

・コリア国際(KIS)コース【中等部・高等部】

コリア国際コースは、コリア国際学園の基本コースであり、言語運用能力と問題解決能力、コミュニケーション能力を育てるための科目構成となっています。基本科目と共に週7時間の英語（文法を含む）、4時間の日本語、5時間のコリア語の授業があり、コリア国際学園の理念を追求するための在日コリアン史、多文化共生論、時事討論、自己探求など、ユニークな科目もあります。

中等部KISカリキュラム

中 1		中 2		中 3	
コリア語	5	コリア語	5	コリア語	5
日本語(国語)	4	日本語(国語)	4	日本語(国語)	3
英 語	7	英 語	7	英 語	7
社 会	3	社 会	3	社 会	3
数 学	4	数 学	4	数 学	4
理 科	3	理 科	3	理 科	3
音 楽	1	音 楽	1	音 楽	1
美 術	1	美 術	1	美 術	1
保健体育	2	保健体育	2	保健体育	2
技 術	1	技 術	・	技 術	・
家 庭	・	家 庭	・	家 庭	1
コリア史	1	コリア史	1	コリア史	1
中国語Ⅰ	・	中国語Ⅰ	1	中国語Ⅰ	・
中国語Ⅱ	・	中国語Ⅱ	・	中国語Ⅱ	1
特別活動	1	特別活動	1	特別活動	1
合 計	33	合 計	33	合 計	33

高等部KISカリキュラム

高 1		高 2		高 3	
英 語	5	英 語	5	英 語	5
英文法	2	英文法	2	英文法	1
コリア語	5	コリア語	5	コリア語	5
日本語(国語総合)	4	日本語(現代文)	3	日本語(現代文)	3
日本史B	2	日本語(古典)	2	小論文	2
現代社会	2	日本史B	3	数学Ⅱ	2
数学Ⅰ	2	数学Ⅱ	3	数学B	△2
数学A	2	化学基礎	2	生物基礎	3
科学と人間生活	2	体 育	2	体 育	2
体 育	2	音楽Ⅰ	○1	保 健	1
音楽Ⅰ	○1	美術Ⅰ	○1	コリア史	1
美術Ⅰ	○1	家庭基礎	1	多文化社会研究	▲2
社会と情報	1	コリア史	1	現代文演習	▲2
在日コリアン史	1	多文化共生論	1	時事討論	△2
H・R	1	H・R	1	自己探求	●2
				漢文演習	●2
				H・R	1
合 計	32	合 計	32	合 計	32



•国際バカロレア(IB)コース【高等部】

国際バカロレア（IB）は、1968年にスイスで設立された国際バカロレア機構（IBO）によって運営されている世界共通の教育プログラムです。

コリア国際学園は、国際バカロレア機構（IBO）が求める教育環境と教員養成を通じて2017年10月に国際バカロレアディプロマプログラム（IBDP）認定校となりました。

6つの科目群と3つのコア科目を履修し、3年生の11月に行われる最終試験に合格することにより、世界共通に認められた大学受験資格を得ることができます。



国際バカロレア(IB)とは

IBは1968年にスイスで設立された国際バカロレア機構（IBO）によって運営されている世界共通の教育プログラムです。

IBOが掲げる教育理念は「全人教育」であり、共通カリキュラム作成や試験の実施、修了資格の付与などを行なっており、世界150以上の国・地域、5,138校（日本国内：113校）において実施されています。（2020年3月現在）

コリア国際学園は2017年10月に国際バカロレアディプロマプログラム（IBDP）の認定校となりました。



国際バカロレアコースカリキュラム

高 2	高 3		
日本語HL	5	日本語HL	5
コリア語SL	5	コリア語SL	5
英語HL	5	英語HL	5
歴史HL	5	歴史HL	5
生物SL	3	生物SL	3
数学SL	3	数学SL	3
TOK	2	TOK	2
体育	2	体育	2
多文化共生論	1	課題研究	1
H·R	1	H·R	1
合 計	32	合 計	32



•日本留学コース【中等部・高等部】

日本留学コースは留学生のためのコースです。現在、韓国、中国からの留学生が在籍しています。

コリア国際コースの科目をもとに留学1年目には9時間、2年目には6時間の留学生日本語の授業があります。3年目から日本語（国語総合）や小論文なども学びます。

授業だけでなく、学校生活や日本での生活を通して、実用的な日本語運用能力を身につけることができます。日本留学コースの卒業生は、大学に進学した後も学業と日本での生活を自分の力で開拓しています。



高等部留学コースカリキュラム

高 1	高 2	高 3			
英 語	5	英 語	5	英 語	5
英文法	2	英文法	2	英文法	1
留学生日本語	13	コリア語	5	コリア語	5
数学Ⅰ	2	留学生日本語	5	日本語(国語総合)	2
数学A	2	日本史B	3	小論文	2
科学と人間生活	2	数学Ⅱ	3	留学生日本語	3
体 育	2	化学基礎	2	数学Ⅱ	2
音楽Ⅰ	○1	体 育	2	数学B	△2
美術Ⅰ	○1	音楽Ⅰ	○1	生物基礎	3
社会と情報	1	美術Ⅰ	○1	体 育	2
在日コリアン史	1	家庭基礎	1	保 健	1
H·R	1	コリア史	1	コリア史	1
		多文化共生論	1	多文化社会研究	▲2
		H·R	1	現代文演習	▲2
				時事討論	△2
				H·R	1
合 計	32	合 計	32	合 計	32

KIS生の多言語運用能力はこうして育まれる

「境界をまたぐ越境人」へのパスポート。
世界で生き抜くための活きた言語教育を実施します。

グローバルな現代社会では文化や価値観が異なる他者を理解し、共感するとともに、自分自身を見つめ直し、自分についてしっかり考える力が求められています。

KIS では日本、アメリカ、韓国、中国など様々な国籍の教員と学生たちが自然に触れ合いながら楽しく学んでいます。すなわち KIS はすでに小さなグローバル社会が出来上がっていると言えます。

多文化環境で行われる KIS の言語教育は「ただ言語そのものを学ぶこと」ではありません。言語というツールを活かしてアイデンティティについて考え、個性をぶつけ合いながら多様な価値観を柔軟に受け入れるチカラを身につけていきます。



Point1 習熟度別の少人数制教育

濃密なコミュニケーションの機会を保証し、英語とコリア語の運用能力を効率的に高めるために、中等部 1 年から高等部 1 年までは学年の枠をはずした習熟度別クラスを編成しています。

高等部 2, 3 年は全てのクラスで国際バカロレア (IB) の要素を取り入れた授業を展開しています。

Point2 「使える英語・コリア語」の育成

単純な「聞く・話す・読む・書く」というスキル別の授業は行わず、統合的な英語・コリア語の運用能力の向上を図ります。

授業中だけでなく、学園生活のあらゆるところでコリア語と英語が使われます。モットーは、「正確さへの過剰なこだわりも、間違いを定着させてしまうルーズさも許さない」ことです。

KIS で身につけた言語運用能力を活かし学校内外での多様な交流で応用してみたり、毎年行われる韓国語弁論大会・3 言語スピーチ大会に参加したり、自分の実力を試しながら考え方や意見を形にして伝える喜びを実感していきます。



Point3 ネイティブ教員による授業展開

語学を学ぶ確かな方法は、ネイティブに教わること。ネイティブ教員から教わる学校も増えていますが、KIS の英語・コリア語教員は、全員が経験豊富なネイティブ教員です。

もちろん授業は、それぞれ英語とコリア語のみで進められます。また「フラット・スタンレー」や「マジック・ツリーハウス」シリーズなどのアメリカで人気の若者向けの英語小説、コリア語の短編小説やエッセー、詩など様々な原書を用いた授業を展開しています。

Point4 海外研修は飛躍的成长の機会

▶ 飛躍的成长の機会・韓国研修・カナダ研修

KIS では全校生が 2 週間の韓国研修とカナダ研修に行きます。

中等部 2 年で実施される韓国研修は姉妹校である開雲中学校（慶尚南道梁山）で 2 週間の学校生活を送ります。1 年間学んだコリア語を現地で徹底的に鍛える機会です。

開雲中学校は全校生徒 1000 人のマンモス校。KIS の生徒は 1 クラス 40 人の中に一人ずつ入って学校生活を送ります。まさにサバイバルコリア語。朝から韓国の友だちに囲まれて、韓国語だけの授業。他人に頼らずに韓国語だけで生活する力が身につきます。開雲中学校の生徒も、先生も、保護者も本当に温かい人ばかり。最初は緊張していた生徒たちも、すぐに馴染んで、帰国する頃は涙ながらに別れを惜しむようになります。研修後もお互いに連絡を取り合いながら、いつの間にか一生の友だちと自然なコリア語が身についています。

高等部 1 年ではカナダ・バンクーバー近郊 Gibsons にある Elphinstone Secondary School に研修に行きます。学校では生徒一人に一人ずつバディが付き、バディと一緒に授業を受けます。KIS の生徒同士も気が付けばいつの間にか英語で会話。学校が終わるとホストファミリーが迎えに来て、楽しいホームステイです。週末はピクニックに行ったり、ショッピングをしたり。大学訪問 (The University of British Columbia) も進路を考えるうえで大切な体験となります。どこに行っても美しい大自然と、大らかでフレンドリーな人たちの中で、英語だけでなく多文化社会カナダの政策や、ファースト・ネーションズの歴史や文化を学びます。

韓国研修とカナダ研修はコリア語と英語の能力を飛躍的に成長させる機会です。



▶ 南太平洋・フィジーへの1年間の長期英語留学の実施

KIS は南太平洋のフィジー共和国にある名門・サンガムカレッジと、日本で初の交流協定を結んでいます。中等部 2 年の 1 月から中等部 3 年の 12 月までの 1 年間、希望者を長期留学に送り出しています。

フィジーで学ぶのは英語だけではありません。多様な言語や宗教が混在し、歴史と文化が入り組んだフィジーの人たちの生きざまを通じて、「共に生きる」ための術を体験します。美しい自然と大らかな人たちの中で、ゆるやかに自分の成長を実感することでしょう。

Point5 明確な到達目標の設定

中高 6 年間を通じて、コリア語は「韓国語能力試験」上級（5 級・6 級）を、英語は英語圏への大学入学基準レベルを目指します。

また実用英語技能検定（英検）などの資格試験を実施しており、各生徒および学校の能力を全国的な基準と比較して把握します。



韓国語能力試験(TOPIK)取得者

対象：全校生（留学生を除く）・2019年度末

TOPIK	初級	中級	上級
	1・2級	3・4級	5・6級
中等部	57.1%	14.3%	28.6%
高等部	26.3%	15.8%	44.7%

実用英語技能検定(英検)取得者

対象：希望者・2019年度末

英 検	初級	中級	上級
	4・3級	準2・2級	準1・1級
中等部	64.7%	23.5%	5.9%
高等部	28.6%	30.4%	3.6%

これがKISのアクティブラーニング

問題解決能力・コミュニケーション能力はどうやって伸ばすのか KISならではの仕組みがたくさん。

「問題解決能力」とは、初めて見る問題を解く力、それは社会生活において、初めて遭遇する場面に対応できる能力のこと。コミュニケーション能力とは、人々の円滑なコミュニケーションのために自分の感情・思考・行動をコントロールできること。KISではこのようにとらえています。

▶毎日の授業が最大の学びの場

学校生活の大半は授業です。ですから、授業で問題解決能力とコミュニケーション能力を育てるためのアクティブラーニングを取り入れることが重要です。

現在、KISで取り組んでいるのは「どのように教えるか（教員主体）」の教育から、「どのように学ぶか（生徒主体）」という生徒の学びの体験に焦点を当てた教育への転換。教員の役割も「教科書を分かりやすく教える」ことから、「生徒の学びを適切にコーディネート」するコーディネーター、ファシリテーターへと変わっていきます。

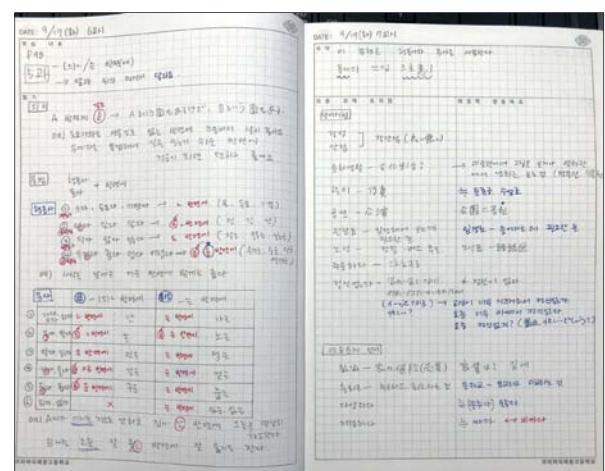
コリア国際学園では日々の授業に生徒たちの調べ学習や発表、相互評価やディスカッションなどを取り入れています。また、KISの独自科目である「多文化共生論」、「時事討論」では、多文化社会化的世界の事例やタイムリーなテーマを取り上げて、社会とのつながりの中で問題解決のための方法を模索します。



▶思考するノート、KISノート

ノートは先生の板書を書き写すもの。多くの学校では常識かもしれません。しかし「書き写す」ことが目的ではなく、思考することが目的です。授業の内容を整理し、疑問を持ち、解決までの道筋をたてること。この過程が、クリティカルシンキング（批判的思考）であり、ロジカルシンキング（論理的思考）です。

そこで「思考する」ことを意識したオリジナルノート、KISノートを開発しました。中等部1年から高等部1年までは全員がこのKISノートを使います。高等部2年からは自分なりの方法でノートを取るように工夫します。書き写して、要約して、疑問点と解決方法を書く。そして、そこから何を学んで、どう活用できるのか。「ノートをとる」こと自体が楽しくなります。



▶ 最新テクノロジーを学びに

日本は世界でもトップクラスの科学技術を誇る ICT 先進国でありながら、教育現場の ICT 化においては後進国であると言えます。使って起こる問題に備えるために、なかなか大胆に使うことが出来ません。そのせいで学校は普段使っているスマホやパソコンが「使えない」空間になっています。KIS は「問題を起こさない」のではなく、「起こった問題に対処する力」を育てたいと考えます。



スマホ、パソコン、タブレット、iPad、Chromebook、なんでも使います。授業や教育活動に Google が提供する教育用のグループウェアである G suite for Education を導入しています。生徒や教職員保護者はパソコンやスマホを使ってメールでやり取りし、カレンダーを使ってスケジュールを共有し、Google ドライブに教育資源を蓄積します。Classroom という機能を使って課題を受け取り、提出し、テストを受けます。



▶ 生徒たちの自治活動は実践の場

生徒会活動やクラスでの活動は問題解決の実践の場です。クラスや生徒全体に必要なことはなにか、解決しなければならない問題はなにかを考えて提案する。提案を吟味し、議論し、解決方法を考える。それを実践して振り返る。クラス会議や全校生集会の運営を通じて、リーダーシップやフォロワーシップ能力を育てます。

生徒代表は保護者、教員、理事、教育関係者、地域住民で構成する教育評価諮問会議のメンバーになり、学校の運営方針にも関わります。

▶ 問題解決能力を育む体験活動

コリア国際学園の授業は、学校外の様々な活動と連携しています。たとえば、コリア語の授業では、近隣の郡山小学校、豊川小学校との交流を通じて児童たちにコリア語学習の楽しさを伝えています。生徒が主体となって、交流の内容を考え、実践します。

2018 年度からは立命館大学産業社会学部、龍安寺参道商店街が連携して「龍の道プロジェクト」を実施しています。大学生や社会人と一緒に商店街の活性化、外国人観光客誘致のための活動に取り組みました。食べ歩きができる商品開発や商店街内のイートインスペース設置の提案、多言語メニューなどコミュニケーションツールの作成に取り組みました。



KIS の生徒が中心となって企画する哲学カフェは、年齢、職業、国籍など人々が違いを超えて集まり、交流する場です。最近のテーマは「進路と人生」、「なぜ〇〇をしなければならないの」、「お父さん、お母さん聞いてください!」など。外出が制限されていた 4 月には、初のオンライン哲学カフェ「新型コロナウィルスがもたらしたもの」を実施しました。全国から 30 人以上が集まり、オンラインならではの交流ができました。

また、地域の人たちを対象とした識字教室では、コリア国際学園の寮生が伝統的に講師を務めています。



進路指導・進路実績

10年後の自分を想像した進路選択。

KISでは生徒一人ひとりに寄り添い、きめ細かい進路指導を徹底します。

世界情勢が、日々大きく変化する時代。自分のものとは異なる価値観にも、柔軟に対応できる力が不可欠です。「越境人」をめざすKISの教育理念は、これから時代に必要とされる人物を育てられます。大学進学だけではなく、さらにその先を見据えた進路指導。在学中はもちろん、卒業後何年経ってもKISでの学びは活き続けます。

日本のみならず、韓国や英語圏の大学にも進んでおり、KIS生は、地球規模で活躍しています。

過去10年間進路実績(卒業生124名)

日本	
大学名	合格者
大阪大学	2
筑波大学	1
京都工芸繊維大学	1
奈良教育大学	1
大阪市立大学	1
大阪府立大学	2
横浜市立大学	1
都留文科大学	1
慶應義塾大学	3
早稲田大学	2
上智大学	1
明治大学	1
国際基督教大学	2
同志社大学	7
立命館大学	6
関西学院大学	5
関西大学	4
立命館アジア太平洋大学	12
近畿大学	3
龍谷大学	2
京都産業大学	2
関西外国語大学	3
京都女子大学	1
京都外国语大学	12
摂南大学	2
京都精華大学	2
神戸学院大学	1
千里金蘭大学	1
大手前大学	2
大阪経済大学	1

日本	
大学名	合格者
京都芸術大学	4
平安女学院大学	1
武庫川女子大学	1
大阪樟蔭女子大学	1
梅花女子大学	1
四国学院大学	1
東海大学	1
甲南大学	1
甲南女子大学	1
大阪医科大学	1
宝塚医療大学	1
大阪総合保育大学	1
天理大学	1
大阪外語専門学校	1
大阪ペピィ 動物看護専門学校	1
N I Cインターナショナル カレッジ	1
大阪リゾート&スポーツ 専門学校	1
京都看護助産学校	1
文化服飾学院	1
大阪ビジネスカレッジ 専門学校	1
ル・トーア 東亜美容専門学校	1
ホスピタリティツーリズム 専門学校大阪	1
辻調理師専門学校	1

韓国	
大学名	合格者
ソウル大学	3
延世大学	6
高麗大学	3
成均館大学	8
漢陽大学	3
西江大学	4
梨花女子大学	5
韓国芸術総合学校	1
中央大学	4

歐米	
大学名	合格者
The University of British Columbia(カナダ)	1
Fraser international college(カナダ)	1
University of the Arts London(イギリス)	1
KU Leuven University(ベルギー)	1
University of Central Arkansas(アメリカ)	1
Hawaii Tokai International College(アメリカ)	1
El Camino Community College(アメリカ)	1
Edmonds Community College(アメリカ)	1
Highline college(アメリカ)	1
Taylor's University(マレーシア)	1



卒業生が語るKISの魅力

2014年度卒業生(第5期) 沈相宇 ソウル大学(韓国)



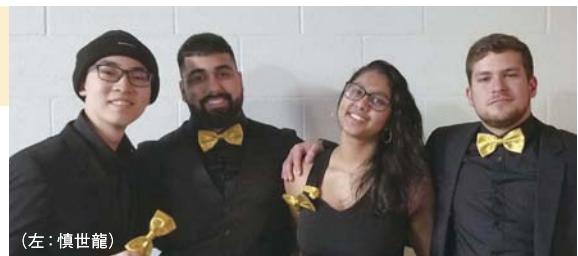
KIS の一番すごいところは、「自分」を持っている生徒が多いことです。とにかく、自分の意見をはつきりと言える生徒が多い。僕は普段から自分が言いたいことを口に出さないタイプで、自分のことをさらけ出すことがなかなかできない。自分をちゃんとアピールしないといけないことを学びました。

僕の夢は、韓国のために働く外交官になることで、アジアの関係を改善できるような人になりたいと考えています。いま東アジアの関係は悪いですが、国家公務員になって、外交問題を改善できるような人間にになりたい。KIS の生徒は一緒に勉強してきた仲間なので、それぞれの場所で、誰もが東アジアの架け橋になれると思います。

後輩たちへのアドバイスは、何事も自分から行動を起こしてください、ということ。社会に出れば誰も自分のことを待ってくれない。後輩だからって先輩を「待つ」必要はないと思いますね。「先輩、何をしたらいいですか」「先輩!僕は、これしたいです!これどうですか?」と自分からアクションを起こせる後輩になってほしい。

2017年度卒業生(第8期) 慎世龍 The University of British Columbia(カナダ)

KIS での六年間は僕の人生観や価値観、人格形成に大きな影響を与えました。KIS の強みは、自分のルーツを大事にしながらも世界に視野を広げてくれる教育方針と、少人数クラスだからこそなし得る先生方の親身なサポートだと言えます。この二つの強みが今の僕を作ったと言っても過言ではありません。



(左:慎世龍)

そして、そのような環境の中で、僕が一番大切だと思うのは「行動は力なり」と言うことです。僕は現在、カナダの大学の経営学部で勉強をしていますが、勉強に力を注ぎながらも、ビジネスケースのチームディレクターや経営学部の学生自治会の活動に最も力を入れています。これは KIS で、人ととの関わり方や自分の行動が人格形成とスキルアップに大きく影響することを学んだからです。この当たり前のようなことに気が付ける学生は実際に KIS の外に出ても少なく、KIS でなくては気付けなかったことだと思います。

最後に、KIS ほど人間的に成長できる学校は他にはないこと、私は本当に KIS に来て良かったということをみなさんにお伝えしたいと思います。



(右:盧愛奈)

2019年度卒業生(第10期) 盧愛奈 近畿大学

アンニヨンハセヨ! 私にとって KIS で過ごした日々はかけがえのないものでした。

実を言うと勧められるまま KIS に入学した私は、入学当初学校に上手く馴染めず毎日泣いていました。言語の壁、異文化の壁があまりにも大きく、内向的で自己主張を不得意とする私は殻を破れずにいました。しかし、高校二年生の時、そんな自分を変えようと始めた生徒会活動が私の退屈な日々を急変させました。入学時、私にとってあんなに大きな壁だった文化や国籍の違いはいまでは私の糧となっており、KIS で出会えた友人や先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は外国から来た子供達を教える教師になることを夢見て大学では国際学と教職過程を学んでいます。その夢を見つけることが出来たのは間違いなく KIS のおかげです。

KIS には多種多様な学びの場と、個性豊かな仲間たちがいます。国際社会に適応できる人間力!夢を叶える為のステージ!

それがまさに KIS です。みなさまも是非 KIS で素敵な仲間たちと共に夢を追いかけてみませんか?

2019年度卒業生(第10期) 張夏奈 Highline college(アメリカ)

私が KIS で学んだことは「挑戦する」ことです。留学生が多いクラスでのコリア語や英語を日常的に使う挑戦、国際ユースカンファレンスやロシアでのボランティア活動など様々な海外での挑戦。中でも、生徒会長として活動した1年間は忘れることができない挑戦でした。

KIS 開校10周年を迎えた2018年度は記念式典だけでなく、文化祭や運動会などすべての行事が「10周年イベント」でした。私たちは運動会を盛り上げようと、チーム別Tシャツの企画・制作を進めたのですが、デザインが決まらない、お金がない、みんなで合意が取れない、なのに時間はどんどん過ぎていくなど、問題山積でした。直前まで混乱していましたが、あきらめずに友だちや先生たち、保護者たちと相談しながら問題に取り組んだ結果、最終的には大成功を収めることができました。

私にとって KIS は、挑戦する習慣をつけてくれた場所です。新入生や在校生のみなさん。失敗を恐れる事なく、いろんなことに挑戦してください。そして、新しい世界を目指してほしいです。



教員メッセージ

Learning Culture Through Language 英語 Ryan Ortiz-Williams先生



1970年代からグローバル化が進む中、日本も多文化共生をめざす国際理解教育や多言語教育が取り組まれてきました。しかし、教育現場でそれを実現することはなかなか容易なことではありません。その中でKISは学校に行くだけで多言語・多文化コミュニティに入ることができます。毎日、様々な言語を聞き、様々な国の人々と話すことで自分の世界が広がります。

KIS英語科では、TOEICやTOEFL、大学進学のための英文法や語彙力にとどまらず、日常生活で実際に使える活きた英語を学びます。アカデミックな文法とクリティカルシンキングなど英語の基礎をしっかりと固め、学校生活の中での英語圏文化に接する機会や、日常会話のディスカッションを通じて、英語力がバランスよく伸び、「使える英語力」が身につくことになります。

その上、KISのバイリンガル・トライリンガル教員とスタッフは第2言語学習の経験者なので、「外国語」を自由に話せるようになるためにはどうすればいいのか、発音はどうすればうまくなるのか、生徒からの様々な悩みにアドバイスできます。

KISでは教員も生徒もみんな学習者です。ミスを恐れずに英語を思いっきり楽しんでください！

心の内面に働きかけるコリア語教育

コリア語 金泯芝先生

第二言語であるコリア語をどのように学習すれば、第一言語のように話し、書くことが可能となってくるのでしょうか。その秘訣は、まず、「勉強」として学習しないことです。ここでいう「勉強」とは、ペーパー試験で高得点を取るためだけの「勉強」です。言語学習におけるペーパー試験は自分の実力の一部を測る手段として使うものであって、それこそが到達点となってはいけません。KISでの「コリア語」の到達点は、多様な場面で活用できるコリア語と、「韓国語能力試験」といういわゆるペーパー試験で高得点につながるコリア語、この二つのバランスを取りながら、言語を通して心の内面に迫ることです。意思疎通を通して感情を共有し、感情の共有を通しての新たな自分を見つけること。つまり、コリア語教育を通して、もう一人の自分に出会い、今までできなかったことに挑戦できる人材を育てることです。

コリア語を通して、もう一人の自分に出会ってみませんか。精一杯お手伝いします。間違ってもいい、表現することを怖がってはいけない。まずは口に出して表現してみましょう。必ず、上達します。

自ら知恵をつくりましょう！

IB教育 金兌恩先生

勉強はなぜ必要だと思いますか？自分が育った環境、成長過程で接した色々なこと、将来の夢などから人それぞれ、その目的があると思います。勉強の目的ができた原因と結果も大事ですが、その過程も非常に大事だと思いませんか？

IB教育が目指しているのは教師の役割を最低限にして、生徒自ら知識を積み重ねることです。それを、自分ひとりの満足を超え、このグローバルな時代にどのように活用して社会に役立つか常に考えるように導きます。言葉を換えると、知識は過去のもので、過去のものから得られたことを知恵として未来のために使うということです。その知恵を自分でつくるのが、「IB教育」です。

KISのIB課程は選択制で、私が担当しているIB生物科目は今年3年目になります。IBではただ教科書の内容をそのまま暗記するのではなく、常に問題意識をもって疑ったり、調べたことを基に自分の意見をまとめたりすることが求められます。ときには酵素の実験のために大量のじゃがいもを切ったり、真夏の太陽の下で光合成の実験をしたりすることもあります。面倒な作業だと思われるかもしれません、そういうこと一つ一つが集まってIB生徒たちの知恵になっていくことを私は望んでいます。

在校生メッセージ

徐輔謙(中等部2年)



生き生きした学校生活

私は、英語はもちろん、コリア語をもっと話せるようになりたいと思い、いくつかの学校を見学しに行きました。見学した学校の中でKISは一番生徒の数も少ない上に通学時間も長いです。でも、私は先輩たちの生き生きした姿、フレンドリーさに強く惹かれKISに通いたいと思いました。

KISは教室を出ると先輩たちに会う環境です。まだ、学校生活に慣れていない不安だった頃、多くの先輩たちが私に声を掛けてくれました。「最近どう?学校慣れた?」などの簡単な会話でしたが、とても嬉しかったのを覚えています。新入生歓迎

合宿や文化祭、体育祭など学校行事はクラスだけではなく先輩たちとも団結し盛り上がる所以、とても楽しいです。また、先生との距離も近く、相談はもちろん、勉強についても質問しやすく親身になってくれます。

KISは留学生も多く、私の学年にも今年から韓国と中国からの留学生が転入してきました。授業で学んだことを普段の学校生活で使うチャンスもあり、分からぬ単語を、お互いに直してあげるのでとても勉強になります。今はまだ、たどたどしい会話なのでもっと話せるように頑張りたいです。

荒巻萌加(高等部2年)



新しい自分の出発点

私はKISに入ってから、友だちに「毎日が楽しそう!」とよく言われます。確かに私は今の生活が好きです。2019年の春にKISに入学してから私の生活は大きく変わりました。入学当初は毎日聞こえる多言語と変化の大きすぎる環境に心が開けず馴染めませんでした。そんな時に私を救ってくれたのは先輩たちでした。学校生活を助けてくれたのも、課外活動で助けてくれたのも全て先輩たちでした。学年の枠を超えてみんなが仲良しなところがKISの良いところです。そして私はここでたくさんの人に出逢い、新しいことを学びました。以前の私だったらしなかった事にもチャレンジするようになりました。韓国でのボランティア活動ではコリア語も分からぬのに行き、先輩たちにたくさん助けてもらいました。しかし、12月のスタディーツアーでは私が友だちを助けてあげることができました。私がなんでもチャレンジしようと思ったのはKISならではのアットホームな環境のおかげだと思います。今、振り返ると好きなことを好きなだけし、たくさんの新しい刺激を受けた1年間でした。今年は更に多くの人と関わり自分の視野を広げていきたいです。

上田稜(高等部2年)



多様性のある学校

僕は、テレビで初めてKISという学校の存在を知り、英語と韓国語が学べると聞いたのをきっかけに入学しました。入学したての頃は少し緊張していましたが、先輩方や先生方が気さくに話かけてくださったおかげで緊張が解け、毎日学校に行くのが楽しくなっていました。

僕は中1の時、春の韓国研修で初めて韓国に行きました。その当時、韓国語を習いたてだったので韓国語を少ししか聞き取れなかったり、あまり喋れなかったりしました。しかし、中2の時にもう一度韓国に行く機会があったので「今度こそ!」と思

い、積極的に喋りかけました。そしたら、前よりも韓国語が聞き取れるようにも、喋れるようになっていたので自分でもびっくりしたのを覚えています。

中3の時にはKISの留学プログラムに参加し、フィジー共和国というオセアニアにある島国に留学をしました。フィジー共和国はフィジー系の人と、インド系の人人が住んでいて自然が豊かな国です。高い建物やビルは都市部にしかありません。Wi-Fiがなかったりスマホが使えないかもしれません。初めてフィジーの学校に行った際、韓国研修での経験を生かして自分から現地の子に喋りかけてみました。どんどんクラスで友達が増えて、とても嬉しかったことを鮮明に覚えています。

僕はKISに入学して毎日新しい環境、文化に触れる貴重な経験をしています。これからも、新しい物事に触れて、多くの経験を増やし、今まで体験してきたことを次の体験に活かしていきたいです。

KISの1年

4月 April	9月 September
<ul style="list-style-type: none"> • 入学式  <p>◀ 新入生歓迎合宿 ▶</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業参観 • 高等部1年カナダ研修旅行  <p>◀ カナダ研修 ▶</p> 
5月 May	10月 October
<ul style="list-style-type: none"> • 学校説明会 • 授業参観 	<ul style="list-style-type: none"> • 体育祭 
6月 June	11月 November
<ul style="list-style-type: none"> • 文化祭 • 中等部2年・3年修学旅行 • 学校説明会  <p>◀ 文化祭 ▶</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • IB 最終試験 • 特別授業
7月 July	12月 December
<ul style="list-style-type: none"> • 期末試験 • 写生大会 • 全校生合宿 • 夏休み 	<ul style="list-style-type: none"> • 第1次推薦入学試験 • 期末試験 • 冬休み • 特別授業
8月 August	1月 January
<ul style="list-style-type: none"> • サマースクール  	<ul style="list-style-type: none"> • KIS成人式 • 一般入学試験  <p>◀ KIS成人式 ▶</p> 
2月 February	3月 March
<ul style="list-style-type: none"> • 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> • 期末試験 • 春休み • 第2次推薦入学試験

KISの特別活動

エルファ
ボランティア



韓国・中国
での
ボランティア



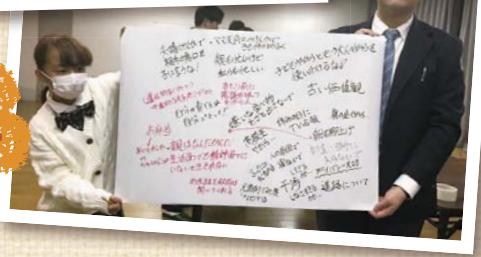
国際青少年
カンファレンス



多民族
フェスティバル



哲学カフェ



龍安寺参道
商店街活性化
プロジェクト



服のチカラ
プロジェクト



学園設備・寄宿舎生活

緑あふれる豊かな自然に囲まれる大阪・北摂にKISはあります。



学校種別	各種学校
名称	コリア国際学園中等部高等部 Korea International School Junior & Senior High School 코리아국제중고등학교
設置者	学校法人コリア国際学園
募集数	中等部1年生:25名 高等部1年生:25名
所在地	大阪府茨木市豊川2丁目13番35号
開校	2008年4月



KIS RESIDENCEは、「越境人」を育成する最高のインキュベーター。



▲ 寄宿舎の全景

▲ 部屋

▲ 食堂

▲ 廊下

KIS寄宿舎の目指すべきビジョン

目的 自己実現に向けて自律(self-directing)と自立(self-standing)の心と態度を育成する

目標 ①〈自己〉自分と時間をマネジメントする力を育成する ②〈他者〉他者への「思いやり」の心と態度を育成する
③〈生活〉規律ある生活態度を徹底する ④〈学習〉「学習意欲」の向上をはかる ⑤〈指導〉リーダーシップを育成する

価値 ①「安心・安全」:寮生が「安心・安全」で生活できる環境や判断を重視する

②「関心・愛情」:相互の人的関係性の土台に「関心・愛情」がしっかり息づく寄宿舎文化を創る
③「規律・遵守」:自己実現のためにも規律ある生活とルール遵守が不可欠であることを理解する
④「気づき・楽しみ」:心に届くリアルな気づきと楽しみこそが人間成長の糧であることを学ぶ

KIS RESIDENCE 施設概要

- ・2人部屋
- ・各部屋ベッド / 机 / 椅子 / クローゼット / 洗面台 / バストイレ
- ・食堂
- ・朝夕の食事付



個性豊かな仲間たちと学園生活+αの経験を 舎監 崔貞実先生

寄宿舎では、舎監と副舎監2人、日本全国、韓国、中国等の海外から集まった25名ほどの生徒たちが共同生活を送っています。寮では、安心かつ快適な生活が出来るよう、1人1人がルールを守り、規則正しい生活を送ることが大切です。親元を離れ、知らない地域で勉強、生活することは慣れるまで大変だと思いますが、「郷に入れば郷に従え」で、お互いの文化や習慣を尊重しつつ、助け合い、支え合いながらやっていけば、有意義で、思い出に残る寄宿舎生活が送れるようになると思います。私も一生懸命サポートしていきます。個性豊かな仲間たちとの共同生活は学園生活+αの経験としてきっと皆さんの大好きな宝物になることでしょう。

コリア国際学園(KIS)後援会の活動

KIS の財政基盤の強化と、国内外の多様なネットワークを活用し、「越境人」を目指す生徒たちの学びを強力に支援します。

後援会長メッセージ



会長 中村泰士さん（作詞・作曲家）

作詞・作曲家としてミュージシャン、シンガーを夢見て輝く瞳の若者たちに出会ってきました。コリア国際学園後援会発起人の集いの日、学園に学ぶ生徒たちのDVDがオンエアされ、そして「越境人」という言葉に触れ、生徒たちの笑顔に胸が熱くなったこと、今も忘れていません。

かねがね私は「We are Asian」ということを訴えてきました。アジアの平和と安定が日本にとって非常に有益であり、この地域の文化と芸術交流がどんどん活性化することが日本社会を豊かにするという考えです。コリア国際学園の建学の精神である「越境人の育成」はそのような私の考え方ぴったり符合しました。この学園で

学び育った生徒たちが日本とアジア、そして国際社会との懸け橋となり、私たちの世代が積み残した様々な問題を解決するだけでなく、持続可能な社会の実現に大きく貢献してくれるものと信じています。

このたび初代後援会長を引き受けることにより、コリア国際学園を物心両面で支えていく所存ですので、どうかご支援・ご協力を心から申し上げる次第です。



発起人からのメッセージ

瀬戸内寂聴さん（小説家、僧侶）

私は現在の地球上に生きるどこの国の子供達も一人残らず、お腹一杯食べられて、充分な教育を受けられ、互いの国から戦争がなくなる日こそ地球のすべての人間が真に幸福になることだとねがね思っていました。

コリア国際学園の教育の理念と建学の精神は、私の考えにまったくぴったりです。

◆ 後援会発起人 *肩書きは当時のもの

- 志村ふくみ（染織家／人間国宝）
- 瀬戸内寂聴（小説家／僧侶）
- 平田オリザ（大阪大学教授／劇作家）
- 鈴木邦男（政治団体「一水会」顧問）
- 澤地久枝（ノンフィクション作家／「九条の会」呼びかけ人）
- 佐高信（評論家）
- 中島岳志（北海道大学准教授）



入試日程／交通アクセス

▶入試日程

第1次推薦入学試験	出願期間:2020年11月16日(月)～2020年12月4日(金) ※当日消印まで有効 試験実施日:2020年12月12日(土)
一般入学試験	出願期間:2021年1月12日(火)～2021年1月22日(金) ※当日消印まで有効 試験実施日:2021年1月31日(日)
第2次推薦入学試験	出願期間:2021年3月1日(月)～2021年3月23日(火) ※3/23午前中必着 試験実施日:2021年3月24日(水)

▶交通アクセス



<JR茨木まで> JR大阪から快速で12分または普通で18分、JR京都から23分(快速)、JR西宮から28分(快速)

- (92番)
- ① JR茨木駅から
阪急茨木駅から
- ※他に、93番「豊川四丁目」(「清水」の次の停留所下車)および95番「彩都西駅」もあります。93番「豊川四丁目」は本学園まで徒歩2分と最も近いですが、1時間に1本の運行です。
- (92番)
- ② 阪急宝塚線 石橋駅から
- ※石橋駅まで:阪急宝塚本線・梅田から16分(急行)
- ③ 阪急京都線 南茨木駅から
- ④ 北大阪急行線 千里中央駅から
(御堂筋線)
- ※千里中央まで:御堂筋線・梅田から19分、御堂筋線・なんばから27分
- ⑤ 阪急千里線 山田駅から
- バス 清水 → 徒歩5分 → コリア国際学園
- モノレール 豊川 → 徒歩10分 → コリア国際学園
- ◆所要時間(分)は目安です。

お問い合わせ

コリア国際学園中等部高等部

〒567-0057 大阪府茨木市豊川2丁目13番35号 TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401
E-Mail : contact-school@kiskorea.ed.jp http://www.kiskorea.ed.jp